

意見交換会実施結果報告書

様式2

番 号	25-02
案件名	第5次中野区一般廃棄物処理基本計画（素案）について

1 意見交換会の実施状況（自治基本条例第14条の規定に基づき実施したもの）

(1) 実施概要

合計実施回数	4 回
合計参加人数	8 人

No.	日 時	会 場	参加人数	区側出席者（職名）
1	11月17日(月) 14時30分～	野方区民活動センター	1 人	ごみゼロ推進課長、清掃 事務所長
2	11月18日(火) 19時～	南中野区民活動センター	2 人	ごみゼロ推進課長、清掃 事務所長
3	11月20日(木) 18時30分～	オンライン（Teams）	2 人	ごみゼロ推進課長、清掃 事務所長
4	12月 6日(土) 10時～	中野区役所	3 人	ごみゼロ推進課長、清掃 事務所長

●配付書類

- ・第5次中野区一般廃棄物処理基本計画（素案）概要
- ・第5次中野区一般廃棄物処理基本計画（素案）

●特記事項（子ども向けの意見交換会を実施した場合には、その旨を記載）

--

(2) 意見交換会における意見・質疑の概要と区の見解・回答 ※1

合計意見数	11 件
-------	------

【「I 基本理念と計画目標」について】 (3) 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	「ごみの減量については、生産段階からリサイクルの視点を持つことが重要になります。機会を捉え、国や業界団体に対し、リサイクルしやすい製品づくりや環境負荷の少ない生産工程の確立など拡大生産者責任を踏まえた製造工程の確立を訴えていくことも必要です。」とあるが、具体的な取組は示さ	現在、他自治体と連携をとりながら、業界団体への働きかけも含め、国や都に要望をしているところである。このような連携の中で、効果的な方法やタイミングを捉えて行うべきと考えており、計画の中で、重点施策の具体的な取組を示すのは困難である。

	れていない。計画中に具体的な取組を示すべきと考える。	
2	仮に熱回収を行うとしても焼却は効率が悪く、温室効果ガスの排出もある。燃やすごみはある程度存在するにしても、出来る限り焼却・熱回収を減らす事を目指すべき。	区の考えも同様である。発生抑制を第一に、排出する場合も、資源化することで焼却量を減らすことを目指している。
3	基本理念を達成する時期が決まっていない。いつまでに基本理念を達成するか目標を立てて、それを実現できるように本計画の目標を設定すべき。	基本理念として掲げる「ごみゼロ都市」の達成年次を計画に掲げることは本来望ましいと考える。ただし、中間処理や最終処分を受け持つ実施主体の計画との整合を図ることはもちろん、今後の社会全体の生産や消費のあり方の動向等からも影響も受けるなど複雑な要素がある。よって、本計画では基本理念の実現に向けた10年間の計画を定め、5年後と10年後の目標値を設定しているものである。

【「基本方針１：発生抑制、再使用の意識醸成」について】 （ 3 ） 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	外国人のごみ出しマナーが悪いと感じる。中野区に移住する外国人は、ごみ分別の講習を受けることを条件にしてもいいのではないか。	ごみの分別方法については、日本人・外国人問わずさらなる啓発をしていく必要がある。文化の違いで分からないことがあるかもしれないが、正しい分別方法が伝わるよう工夫していく。
2	生ごみは庭に埋めているので、ごみがほとんど出ない。生ごみを庭に埋めることをもっと紹介してほしい。	コンポスト化等による生ごみの減量は重要であり、普及に努めていきたいと考えている。一方で、庭に埋めることができない家庭も多いため、「水切り」などによる減量方法についても周知していく。
3	YouTube で様々なことを勉強している。ごみについても YouTube 動画を作してほしい。	区の公式 Youtube チャンネルでは、ショート動画を掲載し、資源とごみの分け方や出し方を説明している。今後も、ショート動画の充実も含め効果的なツールを用いた普及啓発に努めていく。

【「基本方針２：分別の徹底と効率的な資源回収」について】 （ 5 ） 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	プラスチックの資源化のためにかなり多くの費用が増えている。もっと別のところにお金をかけるべきではないか。	清掃工場の経費抑制や、埋立処分場の延命化のためにも、できる限り資源化を進めていかなければならない。区としては今後もプラスチックの資源化を進めていく方針で

		ある。
2	ごみの有料化を検討しているとのことだが、やめていただきたい。	23区が一体として取り組むごみ減量施策の一つとして、家庭ごみ有料化についても検討しているところである。実施する場合は区民に新たな負担をお願いすることになるため、効果や影響を含め、他区とともに慎重に議論していきたい。
3	資源として分別されたものの中にレアアースがどれくらい回収できているか、わかりやすく実績を明記してほしい。	区は、収集した「陶器・ガラス・金属ごみ」や、拠点回収した小型家電からも希少金属を選別・資源化しており、計画(素案)に資源回収品目ごとの実績を掲載している。希少金属の回収量自体が少なく、その中でも「レアアース」に分類される物質は微量であり、計画の中で物質ごとの個別量を示すことは考えていないが、今後も貴重な資源の有効活用をすすめたい。
4	陶器・ガラス・金属ごみの「全量資源化」という表現は、正しくない。全量を再資源化のサイクルには投入したけれども、資源化はできなかったものもあるという事が分かるような表現にすべき。	「全量資源化」は、収集した陶器・ガラス・金属ごみの全量を対象に資源化施設に持ち込み、選別をしていることを示したものである。どうしても資源化できないものが出てしまう現状であるが、今後、それを含めて資源化を検討している状況であり、この表現について変更はしない。
5	「8 新たな資源回収の調査 衣装ケースや羽毛布団の資源化について情報収集を行った。」とあるが、収集した情報を基にどう取り組んでいくのか。今後の取組を書くべき。	これまで収集した情報をもとに課題を整理し、これらの品目も含めた廃棄物の資源化に向け積極的に推進していきたいと考えているが、取組プロセスまで計画に書き込むことは困難であるとする。

(3) 意見交換会における意見により変更した箇所とその理由 ※2

No.	変更した箇所	変更の理由
	なし	

2 その他の参加の手続き実施状況（個別意見の提出、団体等との意見交換等）

あり

※なしを選択した場合は、以下記入不要。

(1) 個別意見の提出

種 別	意見数
窓口	件
電子メール	1 件
電子申請 (Logo フォーム)	件
ファクス	件
電話	件
郵送	件
計	1 件

(2) 団体等との意見交換の実施状況

合計実施回数	回
合計参加人数	人

No.	団 体 名	日 時	参加人数	区側出席者（職名）
		会 場		
			人	

(3) 個別意見の提出、団体等との意見交換等に関する特記事項

個別意見については、1 (2)に含む

※1 計画(条例)全体、項目ごとに作成してください。

※2 意見交換会における意見により区案の加除修正を行なった箇所がない場合も、その旨を明記してください。